

南博・稲場雅紀著「SDGs —危機の時代の羅針盤」岩波新書、岩波書店 2020年11月20日刊を読む

はじめに

SDGs(エスディージェーズ)

- (1) Sustainable Development Goals
- (2) 2015年9月25日国連で193カ国の首脳の合意のもとに採択された
- (3) 「持続可能な開発目標」

SDGsは危機の時代の羅針盤・指導理念

- (1) ①国内外で拡大する貧困と格差
 - ②「地球の限界」がもたらした気候変動や生物多様性の喪失など
 - ③ここ数十年の間に人類に破局的状況をもたらしかねない慢性的危機に対して
- (2) ①2030年という年限を切り
 - ②17のゴールと169のターゲット
 - ③232の指標を示して
- (3) ①「持続可能な社会・環境・経済」に移行することにより
 - ②これを克服することを目的とするもの
 - ③危機の時代を導く羅針盤

*新型コロナウイルス拡大の危機を打開する指導理念

*(i ~ vii)

第1章 SDGs とは何か

1. 持続する世界を作るための目標

- (1) SDGs と「2030 アジェンダ」
- (2) SDGs が目指すもの…<変革>
 - ・世界を持続可能かつ強くしなやか(レジリエント)な道筋に移行させるための変革
 - ①あらゆる形態・側面における貧困をなくす—経済の側面—
 - *人類を貧困の恐怖および欠乏の専制から自由にする
 - ②すべての人々の人権と尊厳が実現され、ジェンダー平等とエンパワーメントが達成される—社会の側面—
 - *恐怖と暴力からの自由、平和で公正かつ包摂的な社会の実現
 - 「持続可能な開発」と「平和」の不可分性
 - ③環境…持続可能な開発において不可分の課題を、SDGs という一つの目標枠組みの中に統合
 - (ア)「持続可能な消費および生産」
 - (イ)「天然資源の持続可能な管理」
 - (ウ)「気候変動対策」

以上について緊急の行動をとることにより、「地球を破壊から守る」。緊急の行動がなけ

れば、「地球は破壊されてしまう」。環境に関して、2030 アジェンダは「緊急事態」を宣言。

(3) 変革のアプローチ

- ① 個別課題に関するイニシアティブをつなぎ、様々な個別課題を生じさせる根源にさかのぼって統合的にアプローチすることで、個別課題へのイニシアティブとの相乗効果を生み出し、課題解決の加速化を促進する
- ② 「最も貧しく、最も脆弱な状況に置かれている人々とのパートナーシップ」
最も遅れているところに第一に手を伸ばす
誰一人取り残さない
- ③ SDGs はそれぞれの国の現実・能力・発展段階の違いを考慮に入れ、国、地域の実情に応じてターゲットや指標・戦略をカスタマイズする

(4) 人々の、人々による、人々のためのアジェンダ